

今回の企画は、2023/12/6-9 の日程で、台北の MLA 施設 10 か所のほか新書大型書店 1 か所が設定された。図書館の管理運営業務を担う報告者は、比較対象としての台湾大学図書館の視察を主な目的にした。台湾図書館法は大学を含めた館種を規定し、その目的を明示しており、視察した図書館は確実にそのミッションを果たしている。視察を通じて、大学図書館はグローバルな教育・研究の実現のために要求される資料の充実と、その使用に際してのシステムの構築と運用という点は普遍的であることを改めて認識した。また、寄付の重視は、優秀な学生育成と卒業後の進路や社会貢献がよい形で繋がっているのではないかと想像した。学生向けの事業企画を図書館が支援し、自主性を育成する館もあった。図書館類縁施設見学も有意であり、報告者の目的を十分満たすものであった。

## 図書館

台湾図書館法では、館種を国家図書館、公共図書館、大専校院図書館、中小学図書館、専門図書館に区分し、設立主体と機能が規定される。

### <公共図書館>

図書館法で「大衆を主な奉仕対象にし、図書を通じ生涯教育や文教活動に資する」とされる。

### 国立台湾図書館中和新館

前身は日本統治時代の「台湾総督府図書館」。台湾への移管を経 2004 年に同館開館「高齢者専用資源」、「多元文化資源」、「青少年読書」各エリアの他「郷土教育資源センター」を有す。併設の資料修復部門「台湾図書病院」を見学。修復技術の説明の後、館内見学。公共図書館としての機能を果たす施設・資料が充実している。

### 台北市立図書館北投分館

2006 年台湾初のグリーンビルディング図書館として竣工。種々のエコロジカルな対策を講じたユニークな建築物はアメリカのウェブサイトで「世界で最も美しい公共図書館 25」の 1 つに選ばれた。自由見学であったが、カウンター職員に整理方法や運営人員に関して聞き取りを行った。内装は木材を多用し照明抑制などエコロジーを実感した。

### 桃園市立図書館新総館

2022 年開館。日台の設計事務所による共同プロジェクトで建設。敷地内にスターバックスや蔦屋書店、レストランなどを備え、映画館も併設。附属ホールでの説明のあと内部が案内された。特徴的な吹き抜け構造である。対象別にフォーカスされた読書エリアは、親子、ティーンエイジャー、シニア、多文化、郷土文学、言語学習コーナーなどで構成され、すべての年齢層と民族グループの読書要求を満たすことを目指しているとのことである。コンビニの協力により、図書館に行かなくても本を借り、返却することができ、市民の利便性向上を図っている。館内の閲覧スペースは余裕がありインテリアも快適な空間を演出し、観光客を含め相当数の利用があるとのことである。

### 蔣経国総統図書館

2022 年「総統図書館」として、初代総統蒋介石の子息故蔣経国の経歴や重要な政策決定の資料の収集、展示、保存を行っている。同館は蔣経国国際学術交流基金会、中華信望愛基金会、台北市政府の協力により計画・推進されてきたプロジェクトの成果で、同館は台北市も運営に携わっているが、基本的には民間によるもので、文物・文書の保管に関する法的な権利・責任を持たない。近代的な外観の内部は木調の什器や、装飾磁器などが配され格調高いものであった。蔣経国総統時代の政治背景、特に两岸関係における軌跡を辿るうえ

で、また氏の政治思想を理解するうえで貴重な資料を有する施設である。開架資料は閲覧のみで書庫は整備中であった。

#### <大学図書館(大専校院図書館)>

図書館法で「教職員を奉仕対象にし、学術研究・教学を支援し、適度に社会大衆に開放する」とされる。

#### 国立台湾大学図書館

1928年台北帝国大学附属図書として設置。日本敗戦に伴い国立台湾大学図書館と改称。利用者の利便を図るため、多元化、専門化、効率化を図っている。サービス時間は、「閲覧スペース」（平土 8-22、日 8-17）、「カウンター」（平土 820-2130、日 820-1630）、「レファレンスカウンター」（平 9-19、土 9-17、日 9-1630）、「討論室」（平土 8-22、日 8-17）「特殊コレクション室」（平のみ 9-17）「討論区」（全日 8-22）、他に「24時間自習室」、「台湾原住民族図書レファレンスセンター」がある。増加する資料には、電子化資料収集のほか自動化書庫（収蔵能力 120 万冊）設置で対応。分館として医学、社科院、法律学院の各図書館、部門図書館（図書館系、物理系、化学系、数学系、海洋他）を設置。出迎えてくれた林奇秀副館長は、図書館図書資料学系専任教授で 2023 年度私図協国際図書館協力セミナーの講師である。報告者は国際図書館協力委員でもあり、ご挨拶させて頂いた。カウンターはアルバイトも起用しているが、参考部門は専門職の専任館員が当たっている。視聴覚コーナーの VHS は日本では生産中止となっており、部品調達も困難であるが、他館での聞き取りでも「修理する」とのことであった。各フロアはデザインされたスペースがあり、学術書以外にもライトノベルス、一般雑誌コーナーもあり、伝統ある建築物の内装のリノベーションの一環で実現された。特殊コレクション室では帝国図書館時代の日本由来の資料を展示。解説と修復について説明があった。自動化書庫は図書館隣接の別個の区画にあり、資料をサイズ別に籠に入れ、収納効率の向上を図っている。なお、軽食コーナー、コンビニが隣接しており、利用者に供している。

#### 国立政治大学達賢図書館

国立政治大学は国民党幹部の育成を目的に創設された中央党務学校をルーツに持つ。2005年にトップ大学計画の 12 校に選定され、国際競争力を有す大学への転進を目標に積極的な施設建設や人材育成投資が行われている。現在 10 の学部及び研究科、学士課程36、修士課程77、博士課程39、研究センター13を擁し、1.5 万人を超える学生が通う。達賢図書館は同大の図書館の分館の一つで、篤志の寄付で 2016 年開館。吹き抜け構造の排架・閲覧スペースのほか、マルチメディア・クリエイティビティ、討論スペース、共同執筆課題のディスカッションとライティングを提供するシステムのほか、高度な研究環境を提供するための、学者研究室とグループ研究席が設置されており、扉には、寄付企業名が表示されている。館長から運営コンセプトおよび組織の説明があった。寄付を重視しており、エントランスには寄付者を顕彰するオブジェ設置。

#### 中原大学図書館

キリスト教の精神に基づいて設立された理工学部、電機情報学部、工学部、商学部、人文教育学部、デザイン学部、法学部を擁する私立総合大学に設置されている図書館である。

館長をはじめ、整理、閲覧、情報サービス各部門の館員から説明があった。館長からは、運営コンセプト、組織や規模などの統計関係説明、図書館の諸事業が紹介された。通訳は大学職員が行った。館内案内では、ラーニングcommons、キリスト教関係の資料コーナーなどが紹介された。当日は、除籍本のリサイクルを実施していた。

## 文書館

### 国家発展委員会档案管理局

台湾の档案(公文書)管理制度は公文書法において確立。同法は、公文書館の収集及び活用を促進、公文書館の機能を発揮させることを目的とし、恒久保存されているアーカイブスは、中央の所轄官庁に移管しなければならないと規定している。所蔵する文書は国策、司法・法務、政治など計 25 区分とする国立公文書館分類表を使用して整理されている。2014 年設立の同局は、公文書館を所管する中央機関として収集、移管、整理その他の管理業務の企画推進を担当。収集したアーカイブを保管し、永久保存価値のある記録の適切な保存を確保し、アーカイブ館リポジトリを設立した。膨大な資料の DX化は書類から映像・録音資料におよぶ。資料の変換作業や現物資料の修復作業を見学した。国家档案閲覧中心は参考担当職員がおり、閲覧(事前登録必要)は備え付けの PC で行う。

## 博物館

### 故宫博物院

「旧国立北平故宫博物院および国立中央博物院籌備処の歴代古文物および美術品の整理、保管、展示、並びに古代中国文物と美術品の収集、研究、普及活動により社会的な教育効果を高める」を設置の主旨とし、行政院に属する。1965 年台北故宫を開館。宋から清時代の宮廷收藏文物を有しており、世界四大博物館の一つである。主題・年代別の余裕を持った展示であった。

### 国家鉄道博物館準備室

行政院文化部において文化資産を司る付属機関。日本敗戦に伴い台湾省が接收。2012 年国指定文化財、2016 年台北機廠を国家鉄道博物館園区とする計画が決定。副所長による台湾鉄道の歴史や施設の説明の後、現場視察を行った。日本が残したインフラの保存継承を実感した。実際稼働していた工場を活用したディスプレイがあった。

## その他

### 誠品生活信義店

アジア有数の大型書店であり統一国際大樓にある誠品書店・誠品生活を核とする大型複合書店。新刊書店で中、洋書を広く取り扱っている。

## 資料

<参加者> 32 名

大学関係 6 名 :

私図協関係 4 名 : 立命館、大正、ICU、中部) ほか私立大学教授、私立大学生博物館関係、公共図書館、図書館関連企業・団体職員 : 18 名、運営関係者 : 7 名

<参考文献> HPは2024/1/9 閲覧)

国立台湾図書館 <https://www.ntl.edu.tw/mp.asp?mp=3333>

台北市立図書館北投分館 <https://tpml.gov.taipei/>

桃園市立図書館新総館 <https://www.typl.gov.tw/zh-tw>

蔣経国総統図書館 <https://cck.presidentiallibrary.tw/cck/>

国立台湾大学図書館 <https://www.lib.ntu.edu.tw/>

国立政治大学達賢図書館 <https://dhl.lib.nccu.edu.tw/index.php>

中原大学図書館 [https://www.lib.cycu.edu.tw/cycu/Index.action?lang=zh\\_TW](https://www.lib.cycu.edu.tw/cycu/Index.action?lang=zh_TW)  
国家発展委員会档案管理局 <https://www.archives.gov.tw/>  
国立故宮博物院 <https://www.npm.gov.tw/>  
国家鉄道博物館準備室 [https://www.moc.gov.tw/jp/News\\_Content2.aspx?n=236&s=13057](https://www.moc.gov.tw/jp/News_Content2.aspx?n=236&s=13057)  
誠品生活信義店 <https://meet.eslite.com/tw/tc>  
現代台湾を知るための 60 章 / 亜洲奈みづほ著. 第 2 版. 東京 : 明石書店, 2012.  
台湾研究入門 / 若林正丈, 家永真幸編. 東京. 東京大学出版会, 2020.  
詳説台湾の歴史 : 台湾高校歴史教科書 / 薛化元主編 ; 永山英樹訳. 東京. 雄山閣, 2020  
台湾図書館法 : 台北市立図書館北投分館にて入手(2023/12/6 政府情報HP)  
中文圖書分類法 2007年版 類表編(修訂版) / 國家圖書館編. 台北市 : 國家圖書館, 2016.